

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

平成30年度

市町村名	鴻巣市					
提案事業名	県央地域の定住促進・子育てナビ事業					
事業期間	平成28年度 ～ 平成28年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 県央地域への年少人口の転入超過数(0歳～14歳)					
	(成果検証の具体的な方法) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」による測定					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Ⓐ B C
	従前値 (平成25～27年平均)	217人	目標値 (平成29年時点)	239人 (10%増)	実績値 (平成29年時点)	464人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

平成 年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 定住促進×パパママ応援子育て便利スポット等発信事業	○	子育て世代向けガイドブック「埼玉県央ライフブック」を作成し、都内及びさいたま市大型書店等で配布すること等により、県央地域の子育てのしやすさを効果的に発信することができた。
② 「県央エリアアドバイザー」養成事業	△	米店者に県央地域の子育てのしやすさを伝え、宅地建物取引業者に転入・定住の後押しをしてもらう県央エリアアドバイザーは25名の養成にとどまったが、宅地建物取引業者等と連携し、大宮駅・東京駅で県央地域の子育てのしやすさをPRすることができた。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	平成29年中の県央地域への年少人口の転入超過数は、目標を上回る464人となり、事業の成果が十分にあったと考えられる。
実施事業について 成果が不十分である点	県央エリアアドバイザーは25名の養成にとどまり、地域内の宅地建物取引業者との連携が課題である。なお、連携が進まないのは、個人を顧客とする宅地建物取引業者に限られるという実情がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	県央地域の子育てのしやすさを継続的に発信するために、効果的な情報発信について検討の上、実施するとともに、地域内外の様々な事業者との連携を模索していく必要がある。